さくら学園だより

庄内さくら学園中
学校だより
2021. 10. 22
No. 8

全力発揮で、「絆」深まる

全学年力合わせた体育大会

10月21日（木）、晴れ間はあるが少し肌寒い天候の中、庄内さくら学園中学校として第2回目となる体育大会が開催されました。8月に新型コロナウイルスの感染が拡大していく中では、今年はコロナ禍での体育大会をどのような形で実施できるかと気をもんでいました。9月末に緊急事態宣言が解除となり、何とか昨年度と同じ規模で実施することができました。当日は、朝早くから保護者の方も子どもたちの応援にかけつけていただき、あたたかな拍手をたくさんもらうことができました。最終的には、およそ400名の方（家庭数では280あまり）に来ていただくことができました。おかげさまで子どもたちも、その思いにこたえるかのようにしっかり頑張る姿をみせてくれ、元気よく笑顔の一日となりました。本当にありがとうございました。

開会式では、生徒会執行部の＊＊さんの開会宣言をうけて3年体育委員10人によるピストルの連打でスタート。生徒会執行部の＊＊さんから「コロナ禍の中、開催するにあたって準備をしてくれた方々に感謝をし、思いやりとつながりの思いを今日の体育大会を通じて発揮しましょう。何年たっても記憶に残るような体育大会にしましょう。」と思いをこめた開会のあいさつ。続いて＊さんからの「競技上の諸注意」があった後、生徒宣誓では＊＊＊さんと＊＊さんがしっかり息を合わせて、「コロナ禍での開催に感謝し、仲間とともに一生懸命頑張る思い」をしっかり伝えきり、競技がスタートしました。

競技が始まると、寒さも吹っ飛ばすような熱気の下で、どの学年も全力で臨む姿が見られました。今年はコロナ禍なので、応援の声は控えめにとは言っていましたが、いざ始まってみると、仲間の頑張る姿に思わず「がんばれ！」の応援の声が飛び交っていました。特に全員リレーは、最後まであきらめることなく、「限界突破」の勢いでバトン

を手渡してつないでいく姿には感動を覚えるほどでした。

生徒会種目では、昨年に引き続き各クラスから「どんな思いや意味を込めて応援旗を創りあげていたのか、体育大会で最後まで頑張る思い」を語っていきました。どのクラス・学年も、個性あふれる発表で、「なるほど、あの応援旗のデザインには、そんな意味が込められているのか」と腑に落ちる内容のものばかりでした 12 枚の応援旗の並ぶ光景は圧巻で、どれも個性的でカラフルで素晴らしいものでした。今年の生徒会旗の文字は「絆」で、次のようなメッセージがありました。「この絆の旗は、3年生が作ってくれました。昨年の『繋ぐ』をどう発展させていくのかを話し合い、先輩が残してくださった思いを心でつなぐ、絆でつなぐという思いが込められています。リレーのバトンを渡すように一人ひとりが思いやりをつないでいきましょう。」

閉会式では、全力で走り切った後でしんどかったのに、「最後まで頑張りたい」との思いで閉会のあいさつを生徒会執行部の＊＊さんが「生徒会のメッセージにあった絆は、今日の体育大会で深められたのではないでしょうか。これから３年は進路に向けて、1･2 年は後期の活動に向けて頑張りましょう」と語りきりました。＊＊さんによるマイクなしの力強い「閉会宣言」で、体育大会の幕を閉じました。みなさん、本当にお疲れさまでした。

【競技の部】

３年　優勝　２組　準優勝３組
２年　優勝　１組、４組（同率）
１年　優勝　２組

【応援旗の部】

最優秀賞　　３年４組
優秀賞　　２年１組、２年３組、
ユニーク賞　１年２組、２年４組

コロナ禍で行われる体育大会ということで、規模を少し縮小した形でしたが、保護者の方にも子どもたちの頑張る姿を見ていただけるものとなりました。ありがとうございました。まだまだこれからもコロナの感染防止対策を徹底しながらの教育活動が続いていきますが、その中で子どもたちの頑張りを引き出し、「一人ひとりが強いつながりをもてる学校」づくりをすすめていきたいと思いますので、今後ともご理解、ご協力をお願いします。